

【久山町】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

学習指導要領及び中央教育審議会答申『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～(令和3年1月)等の内容並びにこれらに引き続く政府の議論も踏まえ、児童・生徒が1人1台端末やクラウドツールを活用し、多くの情報の中から自分が必要とする情報を選び、整理し、自分の考えを表現するとともに、他者の学び方を参考にしたり、考えを知ったりするなど、自ら学びを進めていくことができる「自立した学習者」の育成を目指す。

2. GIGA第1期の総括

令和2年度にGIGAスクール構想の実現に向けて実施してきた端末と通信ネットワークの整備や、これらを活用した学びの実践を行い、個別最適な学びと協働的な学びの推進を図った。今後は、ICTを活用した学びを更に充実させ、情報活用能力の育成を図る。

3. 1人1台端末の利活用方策

GIGAスクール構想第2期で更新する1人1台端末について、その効果的な利用促進に向け、次の3つの視点から取り組んでいく。

(1) 1人1台端末を積極的に活用するために

1人1台端末を効果的に活用するため、デジタルドリル等のツールを有効に活用し、効果的な学習を推進する。また、専門的知識を備えているICT支援員を継続的に配置することによりICT活用を促進するとともに、先進事例等の情報を率先して取り入れる。

(2) 個別最適・協働的な学びの充実を図るために

個別最適な学びと協働的な学びをより充実させるため、学習支援ソフトをはじめとしたツールを効果的に活用することにより、個々の特性や学習進度に合った指導と自発的に自身に合った学習を行う児童生徒の育成を促進する。

(3) 全ての児童生徒の学びを保障するために

1人1台端末を活用した災害時等における学びの保障や、学校へ登校することが困難な児童生徒への支援等を充実させるため、校内での教職員研修の実施、日常的に授業の中で児童生徒がオンラインツールを利用するなど、教職員及び児童生徒へのオンライン学習の円滑化に向けた支援を図る。